

氏名 _____

目指す姿	
今年度(年間目標)	多職種との情報共有を積極的にし、ジェネラリストとしてのやりがいを高める。
3年後の姿	自事業所のリーダー。
5年後の姿	他事業所の訪問看護師との交流を深め、相談できる関係性をつくり、地域のリーダーを目指す。

年度

目指すラダーレベル: I II III **IV** V

該当レベルに○

前期目標		1、利用者・家族の思いを多職種と共有し、個々のニーズを尊重した看護を実施する。 2、後悔のない在宅看取りができる様、利用者・家族の意思決定に寄り添い支援する。					
月		4月	5月	6月	7月	8月	9月
自己の課題	Off-JT		○日 多職種連携研修		20日 家族支援研修		
	OJT	研修会事例検討等		A氏事例検討			在宅看護学会の報告
		同行訪問退院時cf等その他	多職種への情報提供・共有		多職種へA氏の事例検討結果の共有		
自己研鑽	eラーニング学会等他事業所多職種交流						13・14日 在宅看護学会参加
自己評価	・計画していた研修・学会に参加することができ、知識を深めることができた。 ・事例検討が実施でき、問題点や解決策を多職種と共有することができた。 ・在宅で最期を迎えるケースがなく、在宅看取りの経験はできなかったが、学会に参加したことで、在宅看取りの現状や事例を知り勉強になった。事業所内への報告まではできなかった。						達成度 A: できた B: ほぼできた C: できなかった

中間評価・面接

後期への課題	管理者からのコメント
事例検討会をすることで、様々な視点から問題点・解決策を知ることができ、日々の訪問の不安が解決出来た。又、新たなケア方法も知ることができ、利用者・家族への指導方法もより安心・安全に実施できると感じた。1人で抱え込まず、定期的に現状を共有する大切さがわかった。後期は、多職種とも事例検討会ができるようにしたい。	

後期目標		1、後悔のない在宅看取りができる様、利用者・家族の意思決定に寄り添い支援する。 2、多職種と事例検討会を実施し、利用者・家族のニーズを多角的な視点で把握する。					
月		10月	11月	12月	1月	2月	3月
自己の課題	Off-JT	12日 ACP研修					
	OJT	研修会事例検討等	在宅看護学会の報告	10月 ACP研修について伝達講習			
		同行訪問退院時cf等その他			多職種とB氏事例検討	C看護師に同行訪問。看護技術の確認	
自己研鑽	eラーニング学会等他事業所多職種交流						
自己評価	・研修内容を事業所内で共有し、B氏の家族への対応に活かすことができた。 ・後期も在宅で最期を迎えるケースはなかったが、状態が変化した利用者や家族に対し、充分な説明と今後の療養生活の方向性について意思決定の確認ができた。 ・受け持ち以外の利用者へ同行訪問することで、家族のニーズにあわせたケア方法を検討できた。						達成度 A: できた B: ほぼできた C: できなかった

最終評価・面接

到達の有無をチェック

目指すラダーレベルに 到達した 到達できなかった

次年度への課題	管理者からのコメント
多職種との連携を深めることで、より利用者・家族の療養と生活両方のニーズを満たすことができ、在宅チームも安心して自分の役割を実施できると感じる事ができた。 来年は、よりそれぞれの専門性や役割が共有できるように、積極的に多職種連携を実施していきたい。	